平成 24 年 7 月 2 日作成

NEL シール 取扱説明書

取付方法

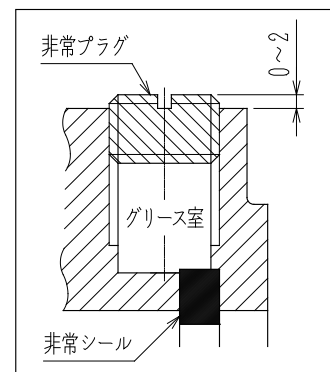
1. スタッドボルトを船尾管に取付けます。
2. 船尾管とシートの間にシートパッキンを挟んでシートを船尾管に取付けます。
3. シールボディを軸に挿入します。この時、石鹸水で軸を濡らしておくと比較的容易に挿入することが出来ます。
4. 摺動部に薄くグリースを塗布します。
5. シールボディを 10 ㎜(規定量)シートの方向に押し付けてシールボディの全長を短く圧縮し、その状態のままホースバンドで軸に固定します。ストッパー付きの場合には、ストッパーを止めねじで軸に固定します。このとき円周に亘って平均的に押し付けて下さい。
6. シールボディ内部に海水が来ていることを確認して運転して下さい。

絶対に水が来ていない状態では運転しないで下さい。

非常シールの使用方法

非常プラグの正常な位置

緊急時にはドライバーで非常プラグをねじ込むとグリース室に充填されているグリースの圧力によって、非常シールの内径が縮小しプロペラ軸に接近して、海水の浸入を防止することが出来ます。また、短時間(数時間)であれば非常シールを使用して航行することも可能です。この時には、非常プラグを少し緩めて従来のグランドパッキンのように海水を船内へ少し漏らしながらご使用下さい。グリースが不足する場合には、一旦プラグを取外してグリースを補充して下さい。使用中はプラグが緩まないようにご注意下さい。
なお、一度非常シールを使用されますと、非常プラグを戻しただけでは完全には復旧しませんので、解放して正規の位置に押し戻してやる必要があります。

緊急時以外はこのプラグをねじ込まないで下さい。

取付後の注意事項

1. 円周上の4カ所においてシールボディの全長を計測し、平均的にほぼ同じであることをご確認下さい。
2. 進水後、図のようにシールボディの上端を手前に引いてエアー抜きを実施して下さい。
3. ビルジにシールボディが常時浸かると、燃料油の影響でゴムが膨潤することがありますので、浸からないようにご注意下さい。
4. 運転開始約 5 時間後に、1 の項目を再チェックして下さい。
5. 取替え直後は摺動部が馴染むまでの間、水漏れが発生する場合があります。この場合は1～2時間運転することで改善されます。

ナカシマエンジニアリング株式会社